

～Blue Mountains 高校生派遣～

2016. 7. 25～8. 8

神戸市立葺合高等学校 2年 森鼻 咲希



スケジュール

7/25 月	7/26 火	7/27 水	7/28 木	7/29 金	7/30 土	7/31 日
飛行機で移動	早朝到着 その後ウインマリ ー高校へ	高校に通 う	市内観光 市長表敬 コリーン カイクさん訪問	高校に通 う	ホストと の休日	ホストと の休日
8/1 月	8/2 火	8/3 水	8/4 木	8/5 金	8/6 土	8/7 日
高校に通 う	高校に通 う	高校に通 う	シドニー 観光	高校に通 う	ホストと の休日	ホストと の休日

私は 7. 25～8. 8 までの二週間三田市の派遣高校生として、姉妹都市であるオーストラリア・ブルーマ

ウンテンズ市に行きました。そこでホームステイをしながら高校に通い現地の生活を体験してきました。

◎Winmalee High School

私は二週間ウィンマリー高校に通わせていただきました。高校では一週目はホストのキアラと一緒に授業を受け、二週目はキアラと一緒に授業を受けたり、有馬高校のプログラムに参加したりしました。ウィンマリー高校の時間割はこのようになっています。

月 木 金		火		水	
Roll Call	8:30-8:45	RC	8:30-8:45	RC	8:30-8:45
Period 1	8:45-10:00	P1	8:45-10:00	P1	8:45-10:00
Recess	10:00-10:20	Rec	10:00-10:20	Rec	10:00-10:20
Period 2	10:20-11:35	P2a	10:20-10:58	P2	10:20-11:35
Period 3	11:35-12:50	P2b	10:58-11:35	P3a	11:35-12:12
Lunch 1	12:50-13:10	P3	11:35-12:50	L1	12:12-12:32
Lunch 2	13:10-13:30	L1	12:50-13:10	L2	12:32-12:52
Period 4	13:30-14:45	L2	13:10-13:30	P3b	12:52-13:30
		P4	13:30-14:45	P4	13:30-14:45

(Winmalee High School HP より)

→授業の様子

授業は日本に比べ自由な感じがしました。生徒たちは音楽を聴いたりお菓子を食べたり携帯を触っていたりしていて、私語なしでひたすら板書をしている日本の生徒とは真反対でした。しかし授業はスピーチやグループワークを取り入れたものや、生徒たちが自ら積極的に問題について考え発言したりする授業は日本と違いとても能動的ですごくいいと思いました。そして、授業間の10分休みなどはありません。印象的だったのは Career の授業でその授業内では自分の将来の夢について具体的に考え work experience というものを積むというものでした。日本でいうトライやる・ウィークのようなものです。将来の夢を明確にし目標をたて行動することは必ず大人になったときに役にたつと思います。私も中学校の時だけではなく、高校でそのような機会を得てみたいと思いました。日本語の授業では、英語から日本語、日本語から英語に文を直すという練習をしていました。みんなに文の構造や漢字を少し教えていたのですが、その時に改めて日本語の難しさを感じました。でもみんなが一生懸命に聞いてくれて積極的に学ぼうとしている姿には本当に自分ももっと自ら色々なことを学ばなければいけないと強く感じさせられました。そして、授業の中ではアボリジニのドットペインティングを有馬高校の生徒さんと一緒に体験させて頂きました。自然の絵の具で木に絵を描いたり踊りを踊ったりしてア



ボリジニの文化を体験することができて貴重な経験となりました。

→学校の様子

学校では、みんないつも笑顔



で話しかけてくれて気楽にいい意味でリラックスできて毎日学校に行くのがとても楽しかったです。朝には Roll call までの時間、友達とおしゃべりを楽します。そして、リセスやランチの時には、いつも同じところにみんなが集まってわいわいしながらお菓子や食事をとりました。リセスは20分休みでみんなでお菓子を食べたりする時間のことです。リセスの時にはポテトチップス、フルーツやクラッカーなどを食べ、ランチの時間にはサンドイッチや学校の食堂のようなところで何かを買って食べました。自動販売機もあったのですが日本円にすると300円くらいで日本の二倍くらいの値段でした。ランチやリセスは雨の日以外は外で食べなければならず、冬だったので少し寒かったです。そして時々日本のお菓子を渡すとすごく興味をもっておいしいと言いながら食べてくれました。毎日笑いが絶えなかったです。生徒は3時前に授業が終わるとすぐに自宅に帰ります。通学方法はバス、電車、徒歩などが多いです。私は帰りはいつもバスを使っていたのですが、スクールバスは毎日満員でした。

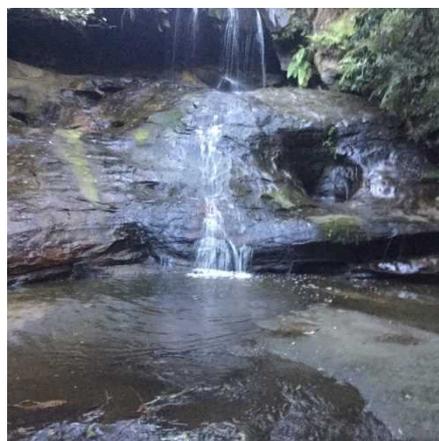


→放課後の様子



家に帰ってからは各自自由に過ごしており、しかも日本の高校のように宿題がたくさん出ているわけではなかったため、毎日何かしらの宿題に追われている私からすると少しうらやましく感じる場所もありました。放課後にはアルバイトをしている生徒もいるそうです。そして、みんなとても早く寝ます。だいたい夜10時頃です。日本の大半の高校生のように夜遅くまで起きていることはありません。すごく健康的でだから授業中に寝てしま

う生徒がいないのだと思いました。ある日の放課後には Horseshoe Falls というところに連れて行ってもらいました。ブッシュウォーキングを試みた滝はとてもきれいでした。



→プレゼンテーション

私は和食についてのプレゼンをだいたい40人の前くらいでさせていただきました。すごく緊張しましたが大勢の前で和食についてしっかり伝えることができよかったです。みんな一生懸命に聞いてくれてうれしかったです。

◎Host Family

ホストファミリーとは本当に良い時間を過ごさせていただきました。いつも笑顔で接してくれ支えてもらいました。普段の生活では朝はトーストやシリアルなどを食べて学校に向かいます。朝はだいたい6時半ごろに起きていたと思います。だいたい家を出る30分前です。学校にはホストマザーが高校の先生だったので一緒に車で送ってもらったり、電車とバスで学校に通ったりしました。そして、帰って



るときはいつもバスを利用しました。高校のある町とホストの町は別だったので通学には少し時間がかかりましたがいつもおしゃべりをして楽しんでいました。家に帰ってくるとテレビなどをみて過ごしました。宿題がほぼないので基本自由です。そして、いつも家族そろって夕食を食べます。日本では習い事や部活などであまり毎日一緒にご飯を食べることは少ないですが、これはとてもよい習慣だと思いました。ランチは寝る前に一緒に作っておきました。そして日本の高校生よりもずいぶん早く10時か10時半には寝ます。こうして、毎日過ごしていました。

→休日

休みの日にはいろいろなところに連れて行って頂きました。ホストマザーの実家に連れていってもらった時は、日本のお菓子をホストのいところにあげたりしたのですが気に入ってくれてうれしかったです。そのときに一緒に抹茶ラテも飲んで楽しみました。そして、キアラとは一緒に卵焼きを作りました。最初に私一人で作ったときにおいしいと言って食べてくれて、そのあと卵焼きづくりに一緒に挑戦してみたのですが、予想以上にうまく作っていてびっくりしました。今では材料や作り方を覚えていろいろなアレンジをして楽し



んでくれているみたいです。日本食が様々な形で他国の人々に食べてもらえるとおもうととてもうれしいです。最後の土曜日にはシドニーに行ってそこからフェリーに乗り TARONGA ZOO という動物園に行きました。動物園ではカンガルーやコアラはもちろん、タスマニアデビルなどのオーストラリア特融の動物をたくさん見ることができてとても楽しい時間を過ごしました。他にもペンリスにあるショッピングセンターに連れて行ってもらったり、アジアの調



味が売っているお店にも連れて行ってもらったりしてたくさんの経験をさせてもらいました。

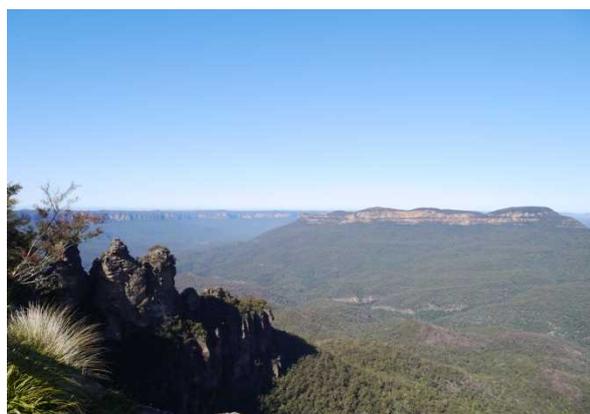
◎シドニー遠足

8/4には有馬高校の生徒とそのホスト、私たち派遣生と私たちのホストと一緒にシドニーに遠足にいきました。その時にハーバーブリッジやオペラハウスを見学しフェリーにも乗りました。いろいろなところから見える景色がとてもきれいでした。特にフェリーからの景色がすごくきれいでした。



◎市内観光

姉妹都市委員のジャンさんの車に乗り市内を観光しました。Eco Point では有名な THREE SISTERS などを見ました。三か所ほど各ポイントを回りブルーマウンテンズ市の壮大な自然を見ました。どこが終わりかわからないくらい山々が本当に大きすぎて自分がちっぽけに思えるほどでした。ブルーマウンテンズ市の名の通り山はすごく青くみえました。その時に Visitor Center にも行かせて頂いたのですが、そこにはアルビノのカンガルーやエミューなどが展示されていたりして、ブルーマウンテンズ市についていろいろなことを学ぶことができました。



◎市長表敬

市長表敬の時には、同じ派遣生の池部さんがブルーマウンテンズ市の観光について調べていろいろな質問していました。その答えを聞くことで観光について学ぶことができました。ブルーマウンテンズについてのパンフレットなどももらったので、私ももっと勉強してみようと思いました。

◎コリーンカイクさん訪問

三田市の名誉市民で姉妹都市締結に尽力されたコリーンカイクさんを訪問しました。カイクさんはとても温かく陽気な方でした。ブルーマウンテンズ市と三田市のことについてたくさんお話していただき、「三田は私たちの第二の故郷だ。」と言っていただいたときは感動して涙がでそうになりました。これからもこの大切な関係を守っていかなければならないと強く感じました。お話しすることができてとてもよかったです。

◎最後に

このような素晴らしい機会を与えてくださった三田市国際交流協会の皆様、ブルーマウンテンズ市姉妹都市委員会の皆様、そして私を受け入れてくれたホストファミリーのみんなや協力して下さったすべての方々から心から感謝しています。この二週間で私はオーストラリアの文化に触れ、様々なことを学ぶことができました。滞在中は、本当に楽しいことばかりでいつも笑っていました。直前にはうまく馴染めるかなど不安もありましたが優しい方々に迎えられ充実した日々を過ごすことができました。みんなに出会えて本当によかったです。言語の面では、なかなか言いたいことが伝えられなかったこともあったり聞き取れなかったこともあったけれどだんだんわかるようになってコミュニケーションも楽しむことができました。また、機会があったらもう一度ブルーマウンテンズ市を訪れます。本当にありがとうございました。

Thank you so much!!

